

# 鹿児島県立博物館研究報告

第13号 (平成6年)

BULLETIN OF THE KAGOSHIMA PREFECTURAL MUSEUM

No13 (1994)

立久井昭雄：宇治群島宇治島のナンゴクアオイ ( <i>Asarum crassum</i> ) の分布及び特徴について	1
黒江 修一：トカラ列島・宝島の動物資料収集記録	5
笹原 節男：奄美大島で日本初のハネナガチョウトンボの生息を確認	11
笹原 節男：アメイロトンボの鹿児島県本土以北での日本初の群生調査報告	15
笹原 節男：鹿児島県下での新記録のトンボ2種	23
今増 俊明：鹿児島市内のビルに見られる化石	25
黒江 修一：展示映像の現状と映像の役割	29
諏訪昭千代：縄文後期市来式土器出土遺跡の分布と当遺跡の出土土器から推知する縄文農耕、特に南九州における稲作農耕の起源について	41

Akio Tachikui : Distribution and characteristics of <i>Asarum crassum</i> on Ujijima Island, Kagoshima Prefecture.	1
Syuichi Kuroe : Documentation of Animals on Takarajima Island, Toshima-mura, Kagoshima Prefecture.	5
Setuo Sasahara : <i>Rhyothemis severini</i> Ris on Amami-oshima Island the discovery and probable colonization.	11
Setuo Sasahara : A colony of <i>Tholymis tillarga</i> (Fabricius) newly recorded north of the Kagoshima mainland.	15
Setuo Sasahara : Two newly recorded dragonflies form the limits of Kagoshima Prefecture.	23
Toshiaki Imamasu : Fossils contained in buildings of Kagoshima city.	25
Syuichi Kuroe : The present state and role of visual media in exhibitions.	29
Akichiyo Suwa : Distribution of the sites from which Ichiki-type pottery of the late Jomon period was excavated. The origin of Jomon agriculture, in particular, rice agriculture in Southern kyushu, inferred from the pottery.	41

鹿児島県立博物館

KAGOSHIMA PREFECTURAL MUSEUM  
KAGOSIHIRA, JAPAN

## はじめに

鹿児島県立博物館は、県民の自然学習の場として、また利用者に親しまれる開かれた博物館づくりのため、学校教育との関係の緊密化を図りつつ、教育普及活動・展示活動・資料収集・研究活動などの一層の充実につとめているところです。

今年度は、豪雨・台風による大被害、屋久島の文化遺産登録・恐竜ブームなどといろいろな自然に関する事象または話題を生じた年でした。これらのことは、自然を見つめ直すきっかけにもなりました。県立博物館としても県内の豊かな自然をいろいろな角度から見つめ、その結果を博物館の活動に生かす努力を絶えず続ける必要があると考えています。

調査研究活動は、資料の収集・保管や展示等の活動と有機的な関連があり、博物館活動の基礎データを蓄積するための大切な活動です。

この13号では自然を対象とした記録、博物館活動に関する記録や考古学の考察をまとめました。本書が多くの方々に利用されることを願っています。

1994年3月

鹿児島県立博物館  
館長 立園多賀生

**鹿児島県立博物館研究報告**  
**第13号 (平成6年)**

発行日 平成6年(1994年)3月31日

発行所 **鹿児島県立博物館**

〒892 鹿児島市城山町1-1 (Tel 0992-23-6050)

(Fax 0992-23-6080)

印刷所 朝日印刷

〒890 鹿児島市上荒田町854-1 (Tel 0992-51-2191)